

スポーツツーリズム・観光誘客イベントの決定版
新感覚！専用スマホアプリで自転車イベント！
リピーター獲得・移住促進も見すえたシステム完備



ポイント獲得型自転車オリエンテーリング

シクログ

ゲッターズ

CYCLOG/Getterzのご提案

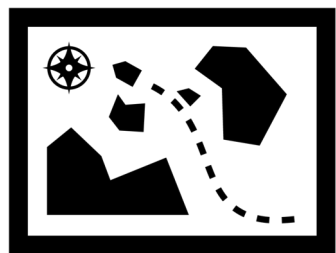


株式会社Seabird





「CYCLOG（シクログ）」「Getterz（ゲッターズ）」は世界で唯一の専用スマホアプリを使用した自転車ポイントラリーイベントです。サイクリングに①制限時間型オリエンテーリング②写真撮影③GPS使用によるゲーム感覚④ソーシャルネットワークサービス（SNS）による口コミ拡散の各要素が加えられた、世界初となる専用アプリを使用して行う、新感覚の自転車イベントです！



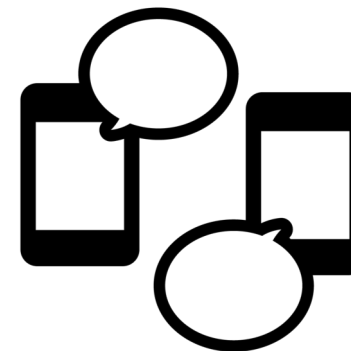
制限時間型
オリエンテーリング



写真撮影



GPS（位置情報）使用
によるゲーム感覚



SNSによる口コミ拡散

※CYCLOGは1DAYイベント、Getterzは1日～長期間イベント
※自転車の活用を想定していますが、主催者判断によりラン、ウォーキングなどでも参加可能なことがあります



ご提案イベント「CYCLOG」「Getterz」の概念図

自転車オリエンテーリングの「CYCLOG（シクログ）」「Getterz（ゲッターズ）」は専用スマホアプリを使い、ゲーム感覚でファミリーも初心者もベテランも同時に楽しめる、世界で唯一の観光誘客型自転車イベントです。エリア内に散りばめられた観光スポットがチェックポイントになるため、既存のイベントよりも参加者に地域の魅力を伝える効果が高いのが特徴です。

(株) Seabird

世界で唯一の弊社の
オリジナルサービス

CYCLOG・Getterz

街のグッドスポットを周遊する
自転車オリエンテーリング

CYCLOGの実施メリット

- 自転車なので広い地域を魅せることができます
- コース設定がないため自由に楽しめます
- 地域内の不公平感をなくすことが可能です
- 弊社独自の専用アプリで低コストでのイベント開催・運営が可能
- SNSとの連携で口コミ効果がアップ
- イベント後も観光ガイドアプリとして使用可能
- 他イベントと比較して地元への経済効果が高い
- 移住促進のキッカケイベントとして

イベント業務委託



イベントの準備と
運営及びディレク
ション

人的リソースをほ
ぼ使わず、低コス
トなイベント運営
が可能です

質の高い参加者
の集客

主催者様

- ❖ 地域観光産業への経済効果
 - ・ 地元宿泊施設への誘客
 - ・ 地元飲食店での食事増
 - ・ 地元商業施設での買物増
- ❖ 地域への移住促進のPR
 - ・ 地元の魅力のアピール
 - ・ 広範囲の周遊
 - ・ 適度の速度域での周遊
 - ・ 観光ガイドアプリの獲得
- ❖ 既存イベントとの比較
 - ・ 人員が少なくても大丈夫
 - ・ コストが少なくてもOK
 - ・ 地域の平等性がほしい

すべてをCYCLOGが実現します

さらにCYCLOG/Getterzの過去の参加者の送客



CYCLOG/Getterzアプリの仕組み

<簡単なルール>

コースはなく事前に公開されたチェックポイントにはそれぞれ持ち得点があり、会場から遠いほど得点が高く、近いほど得点は低く設定されます。制限時間内に自身の脚力に合わせて戦略的に攻略ルートを決め、専用アプリを使いながら周遊し、得点の大小を競います



ログスポット
(チェックポイント)
一覧表示



地図表示



ログスポット詳細表示

FacebookまたはTwitter
でログスポットの写真を投稿
= 観光地情報、地域情報の拡散

チェックポイントに着くとGPSで判別し写真撮影可能に！撮った写真をSNSにアップしてポイントGET!



ログスポットのGET
(ポイントゲット)

順位を確認し、上位に入賞するためのルートプランを立てて次のチェックポイントへ！



リアルタイムで順位確認

CYCLOGではまずチェックポイントをシステム内のマップに配置するところから始まります。チェックポイントの設置は主催者様の希望に合わせて設定できます。一覧表示(左)も地図上での表示(右)もできるので、参加者は迷うことはありません。

チェックポイントの近くに行くとアプリがGPSで距離を判定し、範囲内に入ると写真撮影が可能になります。撮影した写真を事前に関連づけたSNSに記事としてアップすることで得点ゲットとなります。獲得した得点はリアルタイムで反映され、順位を確認することが出来るので嫌でもゲーム性が増していきます。





マラソンやウォーキングなどと比べて自転車はより広い範囲を周遊させることが可能です

- ✓ たとえばマラソンは42kmですが、自転車は短いイベントでも80km～100kmと長い距離を走れる事が多いため、**より広い地域を参加者に印象**づけられます
- ✓ またマラソンなどと違ってサイクリングは適度な運動量と適度なスピードなので、**地域の魅力をより深く知ってもらう**には最適のツールです





マラソンやウォーキング、自転車のレースやロングライドといったイベントと最も違うのがコースの設定がないこと

- ✓ CYCLOG/Getterzはオリエンテーリングがベースのためこのチェックポイントに行くか、どういう順番で回るかは参加者次第。そのため参加者には「自分の好きなように回れて楽しい」と好評です
- ✓ 運営サイドのメリットとしてはスタッフなどを配置した走行管理などが一切いらないため**少人数での開催が可能なこと**
- ✓ さらに警察への**道路使用許可などがほとんどのケースで必要ない**というのもメリットの1つ





コースではなくチェック ポイントをシステムの地図に登録するだけ

- ✓ そのためどんなに広いエリアのどんな場所でもチェックポイント化が可能
- ✓ 平成の市町村大合併で複数の自治体が一緒したケースでも、旧自治体エリアにまんべんなく参加者を行き渡らせることが可能で**地域間の平等性**を担保できます
- ✓ またチェックポイントの配点を調整することで特定のスポットに集中的に送客する周遊コントロールも可能なため地域間での不満が出にくいシステムです





従来の誘客型スポーツイベントは人員の確保とそれに伴うコスト増が負担となっていました

- ✓ 専用のスマホアプリを使うことで受付や集計作業などで圧倒的な集約が可能に。つまり**人も時間もセーブできます**
- ✓ さらにコース設定がないため、交通誘導員や立哨などが必要なく、ボランティアさんの**過剰消費や警備員コストを比較にならないほど低く抑える**ことが可能です





フェイスブックかツイッターに 写真を投稿することで得点をゲットする仕組み

- ✓ 参加者のSNSのページにはCYCLOG/Getterzのゲット写真が並び、**参加者の友達やフォロワーに地域の魅力を自動的に拡散**していきます
- ✓ SNS上ではアップされた写真を押すと、そのスポットのホームページに移動するため、さらにそのエリアおよび**スポットのPR**につながります





アプリ内と大会HPに登録された観光スポットの各種データはずっと保存されます

- ✓ そのためイベント当日に回れなかったスポット目当てに **リピーター**が増加
- ✓ 観光スポットのデータ（電話・住所・HPなど）はそのまま **観光ガイドアプリとして使用可能**。印刷された地図と違い、移転や電話番号の変更など、データの改変があってもすぐにシステムに反映可能
- ✓ 地域専用の観光アプリの制作代金は数百～数千万と高額。比較するとイベント開催+アプリシステムを同時に低コストで獲得できる **CYCLOG&Getterz**はとてもお得なサービスです



CYCLOG/Getterzには通常の得点とは別に
ボーナスポイントを自由に設定することが可能です

- ✓ チェックポイントで食事をしたり、お土産物を買うなど、イベント中に有料サービスを行った人に配布できるのがボーナスポイントです
- ✓ たとえば行くだけだと30点のチェックポイントでランチを食べると100点もらえる設定にすれば、**参加者の多くがそこで食事をし地域への経済効果**を高めます
- ✓ さらに賞品を提供していただく上で、その観光スポットに誘客導線を引くことができるため、比較的**協賛を得やすい**仕組みになっています





CYCLOG/Getterzは自転車イベントであり、比較するとファミリーでの参加が多いのが特徴です

- ✓ ロードバイクは安いものでも1台10万円前後。つまりサイクリストは可処分所得が多い層で、地域への経済効果も高いのが特徴です
- ✓ 参加者は60%程度がファミリーやカップルでの参加。そのため移住促進の視点で言えば通常のスポーツツーリズムイベントよりも高い効果が見込めます





実施への流れ





想定スケジュール





「地元自治体／観光協会様」にお願いしたいことは

CP選定に必要な 情報のご教示と 会場のご紹介

お伺いしたい情報

- ◆ 会場のお手配
- ◆ アピールしたい観光資源のリストアップ
- ◆ ログスポットとしての使用許諾取得

賞品協賛社候補 の獲得

できるだけ多くの参加者に、可能な限りバラエティーに富んだ賞品を提供したいと考えています。

この賞品は地域から簡単な商品などのご提供を受けられればと思います。その手配とつなぎ込みをお願いできればと思います。

イベント当日の スタッフ稼働

想定業務

- ◆ 参加受付業務補助を数人
- ◆ 会場での誘導スタッフを数人
- ◆ 駐車場の整理スタッフ数人
- ◆ 救護班に数人

合計**5~10**人で開催可能

たったこれだけ、です！





<2016年度開催>

- 2016年06月05日 静岡県牧之原市
- 2016年10月02日 長野県軽井沢町
- 2016年11月13日 山梨県甲州市、笛吹市、山梨市
- 2017年02月12日 沖縄県糸満市
- 2017年02月26日 静岡県沼津市、伊豆市、伊豆の国市、函南町
- 2017年03月25日 広島県19市町村



<2017年度開催>

- 2017年09月22日 埼玉県川越市
- 2017年11月12日 山梨県甲州市、笛吹市、山梨市（2回目）
- 2017年12月03日 静岡県沼津市、伊豆市、伊豆の国市、函南町（2回目）
- 2018年02月24日 静岡県・函南町
- 2018年03月31日 埼玉県・嵐山町、ときがわ町



<2018年度開催予定>

- 2018年 6月10日 静岡県牧之原市（全5戦①）
- 2018年 夏予定 群馬県
- 2018年 9月16日 静岡県牧之原市（全5戦②）
- 2018年10月 高知県
- 2018年10月21日 静岡県牧之原市（全5戦③）
- 2018年11月11日 兵庫県神戸市
- 2018年12月09日 静岡県牧之原市（全5戦④）
- 2019年03月17日 静岡県牧之原市（全5戦⑤）



※2018年度開催で多数調整中





弊社実績紹介 <大会当日のSNSでの拡散>

2016年6月5日（日）CYCLOG 牧之原グリーンティ・カップ2016大会当日
参加者による **Twitter投稿数 約1,000件**（CYCLOGアプリからの投稿）

※Facebookでの拡散についてはユーザーによる公開範囲設定があるため実数確認できませんが、
参加者のうち約7割がFacebookを使用されていたため、相当数の画像シェアがなされたものと考えます。





職域分担表（一例）

CYCLOG開催にあたり、弊社ではご主催者様と職域分担を行なっております。
弊社にて主催代行を行う場合の職域分担表を一例としてご提示いたします。

	弊社	ご主催者様	備考
発注書準備	○		
発注書捺印		○	
概要書作成	○		
実行委員会設置		○	弊社との連絡及び地元への働きかけをご担当いただきます
事務局設置準備		○	基本的に問合せ窓口はご主催者様にお願いしております
大会公式HP/SNS制作	△	△	どちらサイドでの制作かをお決めください
大会公式HP/SNS運営	△	△	基本的にHP上の情報はSeabirdが、SNS制作情報は主催者サイドが担当
ログスポット希望リスト制作		○	どこをログスポットとするのかをご決定ください
ログスポット使用確認		○	協力依頼書をご用意いたします
ログスポット協賛依頼		○	協力依頼書をご用意いたします
会場手配		○	想定参加者数が十分収容可能で無料利用可能な場所をご教示ください
ログスポット現地テスト	○		実際にリスト上のすべてのログスポットへ赴いて確認いたします
エントリーサイト申込手続き	○		スポーツエントリーなどを活用します。
告知宣伝	○	△	リロクラブの他にエントリーサイトやイベント・メディア自転車専門誌などにアプローチ
マニュアル制作	○		大会当日1ヶ月前を目処に制作いたします
参加者名簿作成	○		情報の取りまとめ
参加案内書制作/送付	○		制作から印刷/発送までを担当
スタッフ準備	○	○	駐車場誘導、受付などで5～10名程度をご用意ください。 弊社スタッフは4～8人程度で担当いたします。
設営/撤去	○	○	相談の上で詳細を決定いたします
イベント当日運営	○	△	一部スタッフのご協力をお願いします

※各項目については、協議の上で分担を決定いたします。





～開催にあたっての最低限度の予算試算表～

会場関連費	***	会場使用料無料前提
広告/募集費	35万円～	エントリーサイト利用料、同サイトでの宣伝費用他
賞典関連費	10万円～	トロフィーや賞状など
ゲスト招聘費	5万円～	人によって予算は変動します
運営人件費	5万円～	無償ボランティア使用前提ですが、必要人数は10人程度です
スタッフ経費	5万円～	スタッフの交通費、宿泊費、弁当および必要であれば日当など
機材設備費	20万円～	音響機材費、大会ゲート制作費など。テントなどは有り物を使用前提
印刷関連費	5万円～	参加人数によって変動。およそ350円/人程度
安全管理費	10万円～	最低限必要なのは傷害保険で、およそ300円/人。他に警備員配置費用なども
運営事務費	***	主催者様でご用意いただく想定です
合計	約100万円程度	

※弊社の企画/運営費用は含まれていません

※大会HP/SNSアカウント制作および運営費用は含まれておりません

※あくまでも最低限開催ができるレベルですので、クオリティーをあげるための予算は別途必要になると思われます





＜業務委託バージョン＞

◆主催者

→地方自治体様、観光協会様

- ・参加料収入の獲得
- ・イベント経費の支出
- ・告知宣伝業務
- ・問合せ事務局
- ・その他イベント運営全般

◆株式会社Seabird

→企画／運営

- ・アプリ／システムの貸出
- ・当日の運用（受付など）
- ・イベント全体の進捗管理
- ・L Sの踏破調査

企画運営費

~~500万円~~

CYCLOG普及キャンペーン中に付き2017年度中の開催を決定した先着10大会様に限り

300万円 + 税

＜主催代行バージョン＞

◆主催者

→株式会社Seabird

- ・参加料収入の獲得
- ・イベント経費の支出
- ・告知宣伝業務
- ・問合せ事務局
- ・その他イベント運営全般
- ・アプリ／システムの貸出
- ・当日の運用（受付など）
- ・イベント全体の進捗管理
- ・L Sの踏破調査

◆地元自治体、観光協会様

→準備とバックアップ及び後援

企画運営費 ~~500~~ 万円 + 広告費 **300** 万円（一例）

CYCLOG普及キャンペーン中に付き2017年度中の開催を決定した先着10大会様に限り

600万円 + 税





付帯資料

自転車マーケット概要

自転車市場は隠れた巨大マーケット
金額ベースでの規模も人口もイベント数も
右肩上がりで増加中です





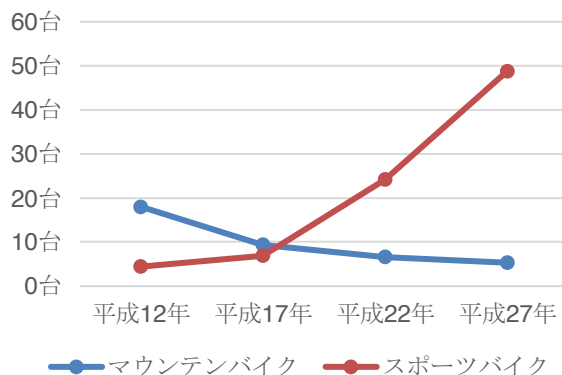
自転車マーケット概要（販売面）

< 1店舗あたりの自転車販売台数推移（年間） >

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平均売価
マウンテンバイク	18台	9.4台	6.6台	5.3台	5.0万円
スポーツバイク	4.4台	6.9台	24.2台	48.8台	
クロスバイク				25.5台	6.5万円
ロードバイク				17.8台	18.0万円
年間販売台数	268.9台	214.3台	215.3台	264.2台	
スポーツバイクシェア	1.64%	3.22%	11.24%	18.47%	

（一財）日本自転車産業振興協会調べ

店舗あたりのスポーツ車販売数推移



スポーツバイクシェア



- ✓ スポーツ自転車の販売台数は直近15年で**1200%増**
- ✓ MTBは減少傾向だが、ロード系はウナギ登りに増加
- ✓ 自転車店舗数は減少傾向だが**店舗規模は大型化の一途**
- ✓ 現在の店舗数は少なく見積もっても約15,000店舗以上
- ✓ スポーツ自転車の年間売上高は推定**730億円**
(年間店舗売上約486万円×15,000店舗で推定)
- ✓ 実サイクリスト人口（MTB+スポーツバイク）は推定**400万人**
(年間54.1台×5年で買替×15,000店)
- ✓ 車体・用具のみでの潜在マーケット規模 = 約**2170億円/年**
(400万人×年間個人自転車予算3.6万円 + 730億円)



自転車マーケット概要 (イベント面)

日付	大会名	都道府県	開催回数	前回参加者
10月30日	瀬戸内しまなみ海道国際サイクリング大会	愛媛県	3回目	7281人
11月13日	ツールドおきなわ2016	沖縄県	28回目	4593人
9月18日	ツールド東北2016	宮城県	4回目	3478人
5月15日	2016スズキ佐渡ロングライド210	新潟県	11回目	3244人
7月10日	那須高原ロングライド2016	栃木県	6回目	2500人
5月3日	ツールド国東	大分県	35回目	2326人
5月15日	グランフォンド軽井沢	長野県	7回目	2147人
1月1日	美ら島オキナワCenturyRun2017	沖縄県	8回目	2038人
3月1日	びわ湖一周ロングライド2017	滋賀県	6回目	2000人
9月11日	ツールドNIKKO2016	栃木県	5回目	2000人
9月19日	2016淡路島ロングライド150	兵庫県	7回目	2000人
3月27日	浜名湖サイクル・ツーリング2016	静岡県	14回目	1737人
6月5日	海の京都TANTANロングライド2016	京都府	5回目	1651人
4月17日	万田発祥Presentsグラン・ツール・せとうち2016	広島県	4回目	1539人
10月16日	瀬美半島ぐる輪サイクリング	愛知県	12回目	1500人
5月29日	第10回記念大会withなご ツールドしものせき	山口県	10回目	1448人
4月29日	うつのみやサイクリングピクニック	栃木県	8回目	1300人
5月29日	グランフォンド富山	富山県	7回目	1260人
9月25日	ツールド三陸サイクリングチャレンジ2016	岩手県	5回目	1250人
5月29日	若狭路センチュリーライド2016	福井県	5回目	1200人
10月9日	ツールド佐伯2016	大分県	26回目	1100人
5月15日	自転車王国とくしま ツールドにし阿波2016	徳島県	7回目	1074人
10月2日	南魚沼グルメライド	新潟県	3回目	1050人
9月18日	丘のまちびえいセンチュリーライド	北海道	7回目	1026人
9月19日	thinkrun presents ツールドのと400	石川県	28回目	1020人
8月28日	ツールド妻有2016	新潟県	10回目	1000人
6月11日	ツールドさくらんぼ	山形県	4回目	1000人
10月8日	CYCLE AID JAPAN2016 ツールド猪苗代湖	福島県	5回目	981人
11月中旬	安芸灘とびしま海道オレンジライド2016	広島県	7回目	970人
11月6日	ツールドいわき2016 (仮)	福島県	3回目	909人
10月2日	2016サザンセット・ロングライドinやまぐち	山口県	3回目	890人
7月3日	インターナショナルオホーツクサイクリング2016	北海道	35回目	826人
6月26日	GREAT EARTH富良野ライド180km	北海道	7回目	811人
9月25日	ライド・ライド狩野川2016	静岡県	17回目	766人
9月18日	出雲路センチュリーライド2016	島根県	11回目	765人
7月10日	十勝中札内グルメフォンド	北海道	4回目	756人
8月28日	望郷ライン・センチュリーライド	群馬県	6回目	733人
9月4日	山陰海岸ジオパーク コウノトリチャレンジライド	兵庫県	5回目	716人
5月15日	石見グランフォンド2016	島根県	11回目	692人
6月11日	ツールド宮古島	沖縄県	9回目	669人
11月20日	ツールド玉川	愛媛県	3回目	630人
7月24日	富山湾岸サイクリング2016	富山県	2回目	620人
5月15日	ツールドさくらがわ	茨城県	16回目	567人
9月18日	ツールドちゃんぽんinポートホールン長崎	長崎県	5回目	548人
9月18日	ツールド西美濃2016	岐阜県	3回目	508人
5月8日	グランフォンド東濃サイクリング大会2016	岐阜県	7回目	500人
	志賀高原ロングライド	長野県	3回目	500人

日付	大会名	都道府県	都市	開催回数	前回参加者
6月14日	Mt.富士ヒルクライム	山梨	富士吉田市	12回目	6,590人
5月17日	榛名山ヒルクライムin高崎	群馬	高崎市	3回目	4,956人
8月30日	全日本マウンテンサイクリングin乗鞍	長野	松本市	30回目	4,500人
9月27日	まえばし赤城山ヒルクライム	群馬	前橋市	5回目	3,408人
4月12日	伊吹山ヒルクライム	岐阜	関ヶ原町	3回目	3,108人
6月28日	ツールド美ヶ原	長野	松本市	16回目	2,500人
5月24日	箱根ヒルクライム	神奈川	小田原市	初回	2,000人
7月26日	矢島カップ Mt.鳥海バイシクルクラシック	秋田	由利本荘市	29回目	1,259人
4月19日	ツールド八ヶ岳	長野	佐久徳町	29回目	1,250人
7月12日	乗鞍スカイラインサイクルヒルクライム	岐阜	高山市	12回目	947人
6月21日	ツールドつくば	茨城	つくば市	7回目	877人
6月7日	初夏の北アルプスヒルクライム つがいけサイクルクラシック	長野	小谷村	26回目	853人
9月13日	ヒルクライム大台ヶ原	奈良	上北山村	14回目	810人
6月21日	富士山国際ヒルクライム	静岡	小山市	12回目	724人
5月17日	時空の路ヒルクライムin会津	福島	会津美里町	12回目	715人
10月4日	ヒルクライムチャレンジシリーズ 高梁吹屋ふるさと村大会	岡山	高梁市	5回目	707人
9月13日	裏磐梯スカイパレーヒルクライム	福島	北塩原村	10回目	699人
7月5日	きたかみ夏油高原ヒルクライム	岩手	北上市	5回目	686人
8月2日	ニセコHANAZONOヒルクライム	北海道	倶知安町	6回目	604人
9月20日	ヒルクライム佐久	長野	佐久市	初回	600人
9月27日	キング・オブ・ヒルクライム富士山	静岡	富士宮市	10回目	600人
8月30日	石榎山ヒルクライム	愛媛	久万高原町	5回目	586人
5月10日	サイクリングフェスティバルあさま (車坂峠ヒルクライム)	長野	小諸市	11回目	543人
9月27日	英彦山サイクルタイムトライアル大会	福岡	添田町	25回目	538人
3月29日	菰野ヒルクライムチャレンジin鈴鹿スカイライン	三重	菰野町	3回目	531人
7月26日	久万高原ヒルクライム	愛媛	久万高原町	5回目	505人
6月28日	チャレンジヒルクライム岩木山	青森	弘前市	14回目	500人
7月26日	東京ヒルクライム OKUTAMAステージ	東京	奥多摩町	7回目	500人

- ✓ 500人以上が参加する自転車イベントのリスト
- ✓ 青のロングライドは全大会数が把握されているだけで130大会程度
 平均参加人数→897人
 平均参加料金→8,110円
 1大会あたりの平均売上→727.5万円
 市場全体での参加者数→延べ116,610人
 市場全体の総売上→9億4570万円
- ✓ 赤のヒルクライムは同じく64大会
 平均参加人数→777人
 平均参加料金→5,805円
 1大会あたりの平均売上→451万円
 市場全体での参加者数→49,728人
 市場全体での総売上→2億8867万円





參考資料





CYCLOG専用アプリ 画面遷移図



①まずはFacebookかTwitterを選択し、登録してログスポット一覧へ



②行きたいログスポットを選び、プラン計算するとMAPにルートが！



③ログスポットに着くとGPSで判別し写真撮影可能に！撮ってSNSにアップしてポイントGET!



④順位を確認し、上位に入賞するためのルートプランを立てて次のログスポットへ！





ログスポットMAP例 (牧之原グリーンティ・カップ2016)



[ログスポット(LS)例]

LS.014
LP.50ポイント
だいたらぼっち公園

観光場所

牧之原市坂口281



LS.069
LP.15ポイント
深蒸し茶製法を確立した山本平三郎翁像

観光場所



牧之原市波津632-6

昭和20年代「やぶきた茶」の葉の厚さに着目し深蒸し製法を確立した偉人



LS.016
LP.50ポイント
ド迫力！時速300㎞走行新幹線体感

観光場所

牧之原市坂口516-3

鉄道ファン必見スポット。茶畑の真横を通り抜ける新幹線の迫力を体感出来ます。



LS.061
LP.---
さがら子生れ温泉

店舗施設



<http://www.makingharashi-kankoukyoukai.com/contents/taike>

牧之原市西萩間672-1

子生れ石からほど近い場所にある日帰り温泉施設。加水せず、源泉のみを使った天然温泉。露天風呂もあり、館内には食堂も。子生れ石とセットで訪ねてみよう。



LS.028
LP.10ポイント
だちよう牧場の中のカフェつなぐ

店舗施設



<http://honey-d.com/index.php>

牧之原市静波2220-2

0548-22-7537



LS.093
LP.100ポイント
茶畑と海とウィンドミルの丘

観光場所

牧之原市落居238

防霧ファンのない茶畑が見えたら風力発電機の真下へ。海の眺め、アジサイもきれいです。





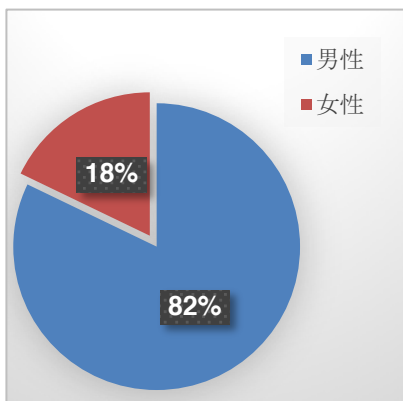
参加者の声（最新の伊豆大会のアンケートより）

- いろんなところを回って美味しいものを食べて、お土産を買って、良い思いができました。
- 初めての街をよく知ることができたから
- レースではないお気軽感がよかったです！
- 楽しく走れました。
- いろんな名所を知れた
- 知らないところを知れるから
- いろんなところを回れました。
- 辛さの中に最高の景色があったから
- **戦略を立てるのが楽しかった！**
- 脚力だけでなく戦略を練るところ
- **家族で参加できたので**
- ガチ乗りしなくても入賞できたりするのいいですね
- **ログスポットを巡るだけで開催地一带の観光スポットを巡って嬉しい(/)＊´¨*(v)お得感があります！！**
- いろんなところを楽しく回れました。
- ポイントをゲットしながら楽しく参加できる
- 普段いかないお店を知れた
- スポットを回ってポイントを獲得し、競争するのが面白い企画でした。
- 地元からのエントリーなんですけどイロイロな発見があって楽しく走れた
- **初心者でも気軽に参加できた**
- 地元の新しい発見がたくさんあった
- 普段行かないような所を回れるのは楽しいが
- 初めての体験だったので。
- 普段行かない場所に行けた
- **リアルタイムで順位がわかりどきどきする**
- 景色が綺麗だったため
- 静岡は、車に嫌がらせをされることもなく、本当に気持ちよく走れました。
- 生まれ育った街でも知らなかった場所に気付く、良い汗をかくこともできた。でも、思いの外、時間が短かった。
- **ボーナスポイントのおかげで脚力に自信がなくても入賞の期待が持てた**
- 初めて参加するイベントだったので
- ポイントを獲得していくこと。
- **自分でコースを決めれるところ。走行距離でなくポイントで順位が決まるどころ**
- 普段行けないようなスポットを回ることができたため。
- 全く新しい形のイベントで新鮮でした
- **近代的で燃えた。カテゴリー豊富で景色もよかったから**
- 沼津在住ですが改めて地元の沼津、伊豆、伊豆市の見所、美味しいものを発見できた
- 景色が綺麗。競争をしているという感覚
- ゲーム感覚で面白い
- **ポイントの競い合いで時間内にどうやって巡るか戦略を練るところ**
- 子供と一緒に参加でき、美味しい物を食べれたところ
- **脚力勝負と作戦勝負の両面で走る前から楽しかった。**
- 入賞者のポイントの内訳が知りたい
- スピード争いでは無い所。楽しみ方が色々ある所。
- 賞品が多く様々な人が貰える可能性がある、**ボーナスポイントを獲得目的で色々お土産が買えて大会後ものしい。**
- 競技開始前から、考えることができた。
- **速さや距離を競う他の自転車大会とは異なり、いつでもどこでも止まれる・寄れる自転車車ならではの利点を活かして、地元の味覚・風景・地元の人とのふれあいの楽しさが提供されている点や他の参加者とLSで出会うとポイントの場所や道を教えあったり地元を知るための親交が深められる点、そしてなにより自転車”オタク”ではない自転車で地元を巡ってみようという方も上位表彰されるというところですね。**
- **リアルタイムで順位変動が分かるところ。**
- 夢中になって走りました。事前に戦略を立てるところも含めて夢中になりました。
- 普段走らない街や道进行るのは楽しい
- 今までサイクリングで通った事はあるが、まだまだ知らない観光地やお店を発見出来た。今回行けなかった観光地もサイクリングでゆっくり回ってみたい。
- コースを自由に選択できるので、自分の力量で走れる。
- **たくさんあるが、一番はLSのキュレーション。自分単独ではまずたどり着かないようなスポットを教えてもらって嬉しいです。**
- ルートが自由で頭脳戦
- ゲーム性がある所
- **親子で楽しく和気藹々と沢山の発見ができた。**
- **ゲーム性が良い**
- 良い景色なのは知っていたが、自転車で走るきっかけが無かったが、今回のイベントで自転車走って見て、車では行かない（目的地までのただの通過点として通り過ぎてしまう）スポットを知れたし、何より**自転車の速度で風景や風や匂いを感じながら走る事がものすごく楽しかった。**
- 始まる前にどこを廻るか考えるところから楽しかった。当日も、順位を見て一喜一憂しながら走るのが楽しかったです。
- ゲーム感覚で運動も出来、**地域PRも出来るというところやコスト安で地域発展出来る所が斬新でした。**
- 知らない街を沢山知ることができた
- 普段行かない場所にも足を運べた。ルート選定の過程で道を覚えることができた。開催地域との協力関係を強く感じた。
- 初心者でも初心者なりのペースで走れたので楽しめました。普段行かないような観光スポットも知ることができました。
- 普段気が付かないようなスポットを回れた
- そこそこの脚力でも、戦略と作戦で上位入賞を狙えるから
- フォトロゲイニングによく参加していて自転車でやっても楽しいだろうと思ってました。ボーナスポイント制度も良いと思います。
- ただ走るではなく、ポイントを集める、時間内に回るなど目的があるところ。
- 自転車イベントの面白さを実感しています。
- 自分の体力や脚力と相談しながらルート設定する自由さと、ゲーム性
- 地元の観光施設を自転車で楽しめるいい機会になりました
- 子供と楽しめた
- **イベントとしてもレースとしてもバランス良く考えられている**
- **形骸化したコースの決まったサイクリング大会より自由に計画してポイントを獲得する楽しみがある。また、地元を利用することによるポイントゲットも地元の活性化や大会の継続に効果があると思われる。**
- **妻と参加できて、晴れて景色もよく、いろんな方と交流もあったからです。あと、道に迷ったが無事に完走できました。**

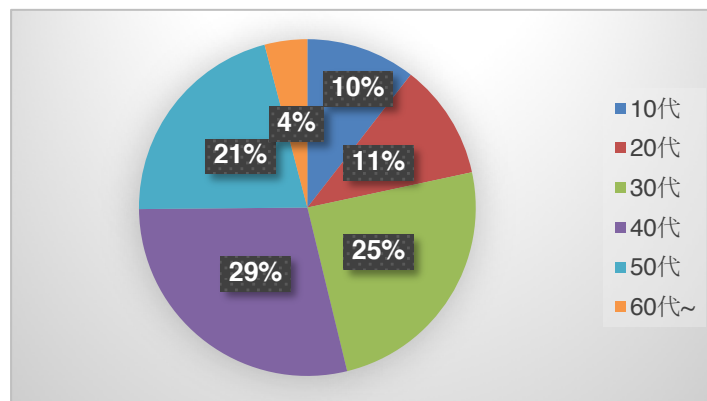




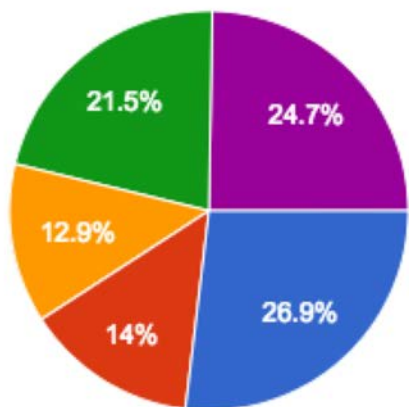
【性別】



【年齢別】

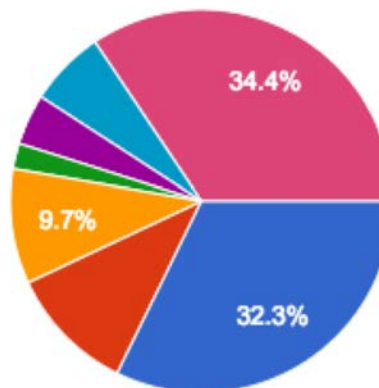


【自転車歴】



- 1年未満
- 2~3年
- 3~5年
- 5~10年
- 10年以上

【イベント参加回数】



- 初めて
- 2回目
- 3回目
- 4回目
- 5回目
- 6~10回
- 10回以上



【ご参考】賞品のイメージ

賞品一覧

※ これらはいくまでご参考用のイメージ（一例）です
 ※ 地域の名産品などを協賛していただく方向で考えております

S賞 1名 びゅう賞品券10万円分	A賞 1名 WiiU+ ニンテンドー3DS LL +お好きなソフト3本	B賞 いわき湯本温泉賞 5名 賞品券4万円分	B賞 松川温泉観光協会賞 3名 6名 ヘア賞品券
B賞 かとうち村賞 5名 20名 いわなの郷 体験宿泊券	B賞 りょうぜん紅彩館賞 2名 4名 ヘア賞品券	B賞 つきだて花工房賞 2名 4名 ヘア賞品券	B賞 喜多温泉観光協会賞 2名 賞品券3万円分
B賞 土湯温泉観光協会賞 1名 賞品券5万円分	B賞 低温泉観光協会賞 5名 10名 ヘア賞品券	B賞 磐梯熱海温泉 ~温泉のめぐりつづめて~ 5名 10名 ヘア賞品券	B賞 三春若松屋賞 1名 2名 ヘア賞品券
B賞 八幡屋賞 2名 4名 ヘア賞品券	B賞 井筒屋賞 2名 4名 ヘア賞品券	B賞 温泉旅館レゾナーの森賞 2名 4名 ヘア賞品券	B賞 プリティッシュヒルズ賞 1名 2名 ヘア賞品券
B賞 機屋町観光協会賞 5名 10名 ヘア賞品券	B賞 山水花はなむら賞A 2名 4名 ヘア賞品券	B賞 ほっとはうすさめかわ賞 10名 20名 ヘア賞品券	B賞 温泉代官の湯屋賞 1名 2名 ヘア賞品券
B賞 湯とラーメンのまち湯島賞 5名 10名 ヘア賞品券	B賞 会津美里町観光協会賞 3名 ヘア賞品券	B賞 つきみどり温泉センター賞 1名 2名 ヘア賞品券	B賞 柳津温泉賞 1名 2名 ヘア賞品券
B賞 にしあけ観光交流協会賞 5名 10名 ヘア賞品券	B賞 昭和村温泉賞 3名 ヘア賞品券	B賞 会津アストリアホテル賞 3名 4名 ヘア賞品券	C賞 3名 WiiUパーケットセット
D賞 10名 ニンテンドー3DS LL	E賞 山形産物賞 10名 本産物特産品選 石巻セット	E賞 山形産物賞 10名 軽井沢かたび 500g	E賞 両国産の紅葉漬賞 2名 目の合わせ
E賞 山形産物賞 10名 大曲焼酎 1箱	E賞 山形産物賞 10名 軽井沢かたび 500g	E賞 両国産の紅葉漬賞 2名 目の合わせ	E賞 福寿りょうぜん漬賞 2名 目の合わせ
E賞 山形産物賞 10名 大曲焼酎 1箱	E賞 山形産物賞 10名 軽井沢かたび 500g	E賞 両国産の紅葉漬賞 2名 目の合わせ	E賞 福寿りょうぜん漬賞 2名 目の合わせ
E賞 山形産物賞 10名 大曲焼酎 1箱	E賞 山形産物賞 10名 軽井沢かたび 500g	E賞 両国産の紅葉漬賞 2名 目の合わせ	E賞 福寿りょうぜん漬賞 2名 目の合わせ

E賞 本家大福賞 2名 菓子人形(うっかりネコ)	E賞 三春物賞 5名 三春物	E賞 おいち茶屋賞 4名 おいち茶屋	E賞 三春のさくら賞 20名 みほろ手ぬぐい3枚セット	E賞 三春の酒類賞 3名 三春物 純米酒 (1,000ml)	E賞 三春の産物賞 5名 三春の産物券1,000円分	E賞 なかや商店賞 3名 三春みそ(1kg)
E賞 あぶくま産物賞 15名 あぶくま産物 (500ml×24本)	E賞 八木工業産物賞 15名 ハムワインナー-目の合わせ	E賞 小野小町賞 20名 特産品詰め合わせ	E賞 山形産物賞 5名 10名 産物詰め合わせ	E賞 山形産物賞 20名 特産品詰め合わせ	E賞 天竺山観光協会賞 10名 特産品詰め合わせ	E賞 天竺山観光協会賞 5名 焼酎720mlセット
E賞 青の秋元本店賞 5名 自製焼酎(純米)詰め合わせ	E賞 秋田産物賞 5名 秋田産物詰め合わせ	E賞 山形産物賞 5名 スイーツセット	E賞 JALしろかわ賞 3名 ハト産物詰め合わせ	E賞 MOとみや賞 3名 白米詰め合わせ	E賞 千代田産物賞 5名 白米詰め合わせ	E賞 常盤産物賞 5名 常盤産物詰め合わせ
E賞 常盤産物賞 6名 常盤産物詰め合わせ	E賞 常盤産物賞 20名 特産品詰め合わせ	E賞 山水花はなむら賞B 10名 デザート詰め合わせ	E賞 山水花はなむら賞C 5名 道の駅はなむら産物詰め合わせ	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 デザート詰め合わせ	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 特産品詰め合わせ	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 特産品詰め合わせ
E賞 手-まめ-産物賞 20名 特産品詰め合わせ	E賞 産物詰め合わせ賞 30名 いわほしほ(純米)	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 特産品詰め合わせ	E賞 ゴールドハウス賞 5名 食事券1,000円分	E賞 氷川賞 10名 食事券2,000円分	E賞 グランパコ賞 5名 10名 ヘア賞品券	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 ヘア賞品券
E賞 パルティ賞 1名 2名 ヘア賞品券	E賞 パルティ賞 1名 2名 ヘア賞品券	E賞 パルティ賞 1名 2名 ヘア賞品券	E賞 パルティ賞 10名 ヘア賞品券	E賞 パルティ賞 5名 ヘア賞品券	E賞 パルティ賞 2名 ヘア賞品券	E賞 パルティ賞 3名 ヘア賞品券
E賞 GINSENG UNDER 2名 食事券(2,500円程度)	E賞 産物詰め合わせ賞 2名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 2名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 2名 産物の購入
E賞 産物詰め合わせ賞 1名 本製産物 文房	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 4名 産物の購入	E賞 ものん賞 2名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 1名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 1名 産物の購入
E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入
E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入
E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 3名 産物の購入
E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 5名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入	E賞 産物詰め合わせ賞 10名 産物の購入





安全对策



スポーツイベントにおける事故・アクシデントの2大ケース その① 交通事故

【事故のケース】

伊豆グランフォンド 2017	ロングライド	公道走行	イベント中に44歳女性がカーブを曲がりきれずに崖下に転落死
行田クリテリウム 2017	レース	クローズド	レース中に4台の自転車が接触転倒し、うち1人が死亡
琵琶イチライド 2016	ロングライド	公道走行	トンネル内で参加者同士が接触しよけたところを自動車にはねられる
佐渡ロングライド 2016	ロングライド	公道走行	下り坂で自転車同士が接触し骨折。一時走行が禁止される
富士河口湖フルーツライド 2016	ロングライド	公道走行	終盤の下り坂で木の葉を巻き込んだためブレーキが効かなくなりスピード超過で転倒し骨折
郡山シティマラソン 2013	マラソン	クローズド	レース中に73歳男性の運転する車が飛び込んできて参加者をはね、骨折の重傷

調査所感

- 記事の大小にかかわらずニュースになるような事故は意外と少ない
- 記事数は年間3件程度で重傷者のみの報道
- 細かい自損事故を入れると増えるはずだが、数大会への取材では年間1件あるかないか
- 死亡事故数は年間1件あるかないかのレベル
- マラソンでは基本的に交通事故はないが上記のような特殊なケースも

【事故の原因】

- もらい事故を除けば圧倒的に多いのは**スピードの出しすぎ**によるコントロール不能とマナー違反
- 圧倒的に多いのは**下り坂とカーブ**での速度超過



【なぜスピードを出しすぎる？】

- 1つしか無いコースで大人数の参加者が集中するため「**負けたくない**」「**ついていきたい**」という意識が生まれ、物理的に台数の多さから来る過密具合も加わってスピード超過と車間距離不足が生まれる
- **自分の実力に見合ったイベント選択**をせず、知らず知らずになたまった疲れが判断の鈍化と握力定価を促し、スピードの制御ができなくなっている



スポーツイベントにおける事故・アクシデントの2大ケース その② 心臓系/突然死

スポーツ中の突然死の発生数と割合 (サンプル数:645人)

表1: 突然死のスポーツ種目
(1984年~1989年厚生科学研究、村山ら)

順位	0-39歳		40-59歳		60歳以上		全体
1	ランニング	114	ゴルフ	41	ゲートボール	44	ランニング 165
2	水泳	58	ランニング	33	ゴルフ	40	ゴルフ 87
3	サッカー	24	水泳	14	ランニング	18	水泳 80
4	野球	21	スキー	12	登山	11	ゲートボール 45
5	体操	16	登山	11	水泳	8	野球 32
	その他	99	その他		ダンス その他	8	
		332		166		147	645

- 実は自転車は**スポーツ中の突然死の発生率**ではかなり少ないジャンルである
- 圧倒的なのはランニング
- ジャンル別の人口から見ても決して多いとはいえない
- しかしイベント中の不幸な事故もやはり存在する

スポーツイベント中の突然死の例

諏訪湖マラソン	25歳・男性	マラソン	ゴール直後・急性心不全
鹿沼さつきマラソン	44歳・男性	マラソン	ゴール3km手前・急性心不全
福知山マラソン	59歳・男性	マラソン	22km地点・心筋梗塞
おらが村心臓破りフルマラソン	45歳・男性	マラソン	35km地点・心筋梗塞
うつのみやサイクルピクニック	49歳・男性	サイクリング	心筋梗塞? 結城市副市長

- 米国での調査によるとある1年間でマラソン中に突然死した人の数は0.54%
- 日本の統計では1992年~2011年の間に127名の方が突然死でなくなっています



原因

- 前日の睡眠不足や披露の蓄積
- 食事などコンディショニング面の不備
- 早すぎるペース
- 自身の実力に見合わない距離の選択
- 当日の水分・栄養補給の不備





CYCLOGはこれまでの大会（計3,000人参加）で事故／アクシデントは「ゼロ」

コース設定によるリスク

- みんなに遅れたくないという焦り
- 他人より早く走りたいという欲求
- 参加者密集による接触の可能性
- 長い距離を画一的に走らせる = 実力以上の大会選択を強いてしまう
- 大会の後半で疲れが蓄積してもコースを走りきらなければいけない
- 大会までのコンディショニング不備

コース設定をなくすことでほとんどの
リスクを解決もしくは軽減しています

安全面におけるCYCLOGの優位性

- 自由に目的地を選ぶため目に見える他の参加者とスピードで競ったり遅れたくないという焦りや欲望が生まれにくい
- コースがないので参加者が同じ道路上に密集しない
- 自身が目的地を選択するため無理な距離設定が生まれにくい
- 自分でコントロールできるので後半の疲れという概念が薄い





無理をさせないためにCYCLOGが心がけていること

【イベントシステム面】

- ✓ **一斉ではなくウェーブスタート**
→少人数のグループごとにスタートさせることで序盤の参加者集中を緩和
- ✓ **交通安全メッセージのプッシュ送信**
→1~2時間ごとに「道路に左端を一列で走りましょう」などのメッセージを画面に送信して安全への注意喚起を行います
- ✓ **ラスト30分間のゲット禁止**
→ギリギリまでポイント獲得を狙うことでの駆け込みゴールを阻止する目的
- ✓ **ラスト60分間の順位非表示**
→上記同様、ギリギリでの駆け込みゲットを防止する目的

【オペレーション面】

- ✓ **イベント傷害保険への加入**
→イベント中の障害に関する一定額の傷害保険に加入し、その旨はエントリー時に明示
- ✓ **救護車の用意**
→参加者のトラブルに向けてワンボックス車などを大会規模に合わせて複数台用意し、参加者の迅速なピックアップを可能にしています。
- ✓ **危険な場所の表示**
→走行時に危険と思われる箇所にはLSとして配置し危険に対する注意を喚起
- ✓ **本部へのダイレクト電話ボタン**
→アプリ上部に大会本部へダイレクトに電話できるボタンを配置





社名	株式会社Seabird
郵便番号	〒158-0082
住所	東京都世田谷区等々力3-6-13 アコーレ等々力ビル4F
TEL & FAX	03-6883-5845
MAIL	info@seabird.jp.net
HP	https://seabird.jp.net
担当	野地（のち）

